

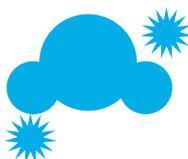


証券コード：6848

第76期 ビジネスレポート

2019年4月1日～2020年3月31日

東亜ディーケーケー 株式会社



ごあいさつ



平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、2019年度（第76期）における当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 **高橋 俊夫**

当期におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の影響が懸念される中、緩やかな景気回復が継続し、設備投資は人手不足対策と生産性向上を目指して堅調に推移しましたが、年明けからの新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、先行きは国内外ともに不透明な状況となりました。

このような状況の中、当社グループは、2019年4月からスタートした中期経営計画のもと、「水・大気・医療・ガス」の4本柱でさらなる成長に向けた施策を積極的に推進しました。

国内では、消費税増税前に増加した環境用大気測定装置の入札案件獲得や科学分析機器の新製品発売キャンペーンの展開等に注力しました。一方、海外の主要市場である中国では、大気汚染規制強化に伴う商戦本格化に向け活発な受注活動を展開しました。また、主力製品である環境用水質分析計の新モデルでの性能試験で中国の国家認証を取得するなど、中国での現地生産による事業拡大を

推進しました。

新型コロナウイルスの感染が拡大した2月以降は、いち早く適切な感染防止策を実施するとともに、当社の計測機器が社会インフラの重要な機能を担っていることを踏まえ、お客様への安定した製品・サービス提供の継続に向けて様々な対策を講じています。

以上の結果、当期の業績は、アジアにおいて前期に大型案件を売上げた反動等から、売上高は16,349百万円（前期比6.8%減）、営業利益は1,834百万円（前期比7.5%減）、経常利益は1,918百万円（前期比6.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,369百万円（前期比3.5%増）となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、5期連続の最高益を記録しました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

分野別売上高の概況



計測機器事業

16,085百万円

(前期比 7.0%減)

- 環境・プロセス分析機器
- 科学分析機器
- 産業用ガス検知警報器
- 電極・標準液
- 保守・修理
- 部品・その他

不動産賃貸事業

264百万円

(前期比 2.1%増)

東京都新宿区の本社に隣接の賃貸ビル1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。

環境・プロセス分析機器

6,266百万円
(前期比 16.7%減)

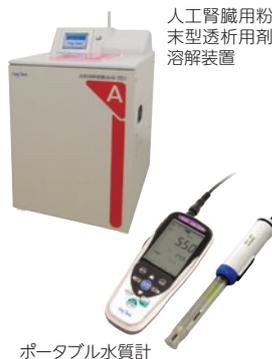


この分野は、基本プロセス計測器、環境用大気測定装置、煙道排ガス用分析計、ボイラー水用分析装置、上下水道用分析計、環境用水質分析計、石油用分析計等であります。

国内においては、主力の基本プロセス計測器をはじめ、環境大気測定装置・上下水道用分析計といった主要製品の販売が好調に推移したものの、海外では、アジアにおける前期の大型案件の反動減などから、売上高は前期比16.7%減となりました。

科学分析機器

2,097百万円
(前期比 7.7%減)



この分野は、ラボ用分析機器、ポータブル分析計、医療関連機器等であります。

ラボ用分析機器・ポータブル分析計は、韓国などにおける海外販売が苦戦し、伸び悩みました。

医療関連機器の主要製品である粉末型透析用剤溶解装置の売上は、消費税増税の影響もあり通期では減少したため、当分野の売上高は前期比7.7%減となりました。

産業用ガス検知警報器

313百万円
(前期比 1.4%減)

当分野の売上高は、海外販売が減少し、前期比1.4%減となりました。



毒性ガス検知警報器

電極・標準液

2,356百万円 (前期比 2.6%増)

保守・修理

2,291百万円 (前期比 6.2%増)

部品・その他

2,759百万円 (前期比 1.4%増)

これらは、環境・プロセス分析機器、科学分析機器の分野における全製品群の補用品類、現地調整・定期点検および修理、補用パーツ等に該当するものであります。

これらアフタービジネス分野につきましては、国内機器販売の増加に伴い、売上高は全体で前期比3.2%増となりました。



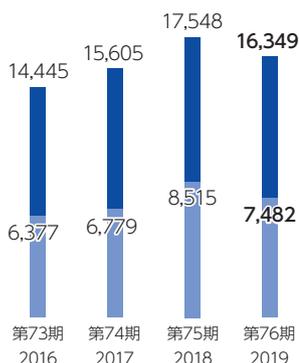
電極

連結業績ハイライト

■ 上半期 ■ 通期

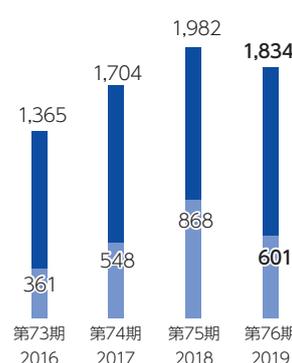
売上高

(単位:百万円)



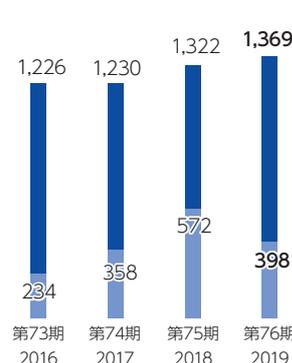
営業利益

(単位:百万円)



親会社株主に帰属する
当期純利益

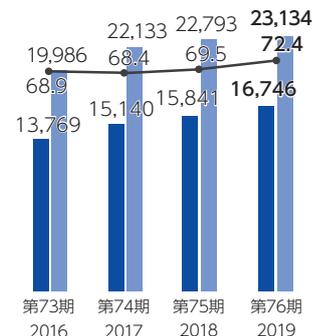
(単位:百万円)



純資産／総資産
自己資本比率

(単位:%)

■ 純資産 ■ 総資産 ● 自己資本比率



/// 韓国の国家認証を受けた PM2.5測定装置の納入開始

当社のPM2.5測定装置は日本国内シェアNo.1であり、海外市場へも展開しています。

韓国では、PM2.5問題が年々深刻化しており、当社はPM2.5測定装置の韓国対応モデル（FPM-388）で国家認証を取得し、韓国の地下鉄駅構内9か所に製品を採用いただきました。



/// アリス東亜DKKを吸収合併 ~もっといいモノづくり~

連結子会社のアリス東亜DKK(株)を2020年4月1日付で吸収合併しました。

同社は、医療関連機器の製造と、標準液・試薬の生産を担っておりましたが、本合併により、コスト競争力を高めるとともに、開発・生産・品質保証が一体となった事業運営を進めることで生産性と品質のより一層の向上を図ってまいります。



/// 健康経営の推進

2018年に健康保険組合連合会東京連合会へ「健康企業宣言」を行いました。その後、健康づくりに向けた積極的な取り組みが評価され、2019年10月2日付で健康優良企業「銀の認定」を取得しました。（健銀第907号）

また、従業員のスポーツ活動を促進している企業として、2018年に続き、2019年度も東京都より「東京都スポーツ推進企業」に、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」にそれぞれ2年連続で認定されました。



/// 環境経営の推進

「山形県民CO₂削減価値創出事業」における「CO₂削減価値（J-クレジット）」購入企業募集に応募し、7社のうちの1社として購入先に選定されました。2020年2月には山形県庁で売買契約締結が執り行われました。

また2020年4月からは、本社・狭山テクニカルセンター・東京エンジニアリングセンターで使用する電力を100%再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。



吉村山形県知事（右）



国内ネットワーク

▶各営業部・営業所の連絡先は、ウェブサイトをご覧ください

東亜DKK 拠点

<https://www.toadkk.co.jp/company/network/index.html>



- 本社
- 営業拠点
 - 東日本営業部(東京)
 - 札幌営業所
 - 仙台営業所
 - 千葉営業所
 - 神奈川営業所
 - 西日本営業部(大阪)
 - 名古屋営業所
 - 広島営業所
 - 四国営業所
 - 九州営業所
 - 長崎事務所

- 事業所
 - 狭山テクニカルセンター
 - 開発研究センター
 - 医療関連機器生産棟
 - 東京エンジニアリングセンター
- ▲ グループ会社
 - 山形東亜 DKK 株式会社
 - 岩手東亜 DKK 株式会社
 - バイオニクス機器株式会社
 - 東亜 DKK サービス株式会社

/// 会社の概況 (2020年3月31日現在)

商号	東亜ディーケーケー株式会社
英文商号	DKK-TOA CORPORATION
創立	1944年9月19日
資本金	18億4,248万1千円
従業員数	381名 (連結658名)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 計測機器 (環境・プロセス分析機器、科学分析機器) の製造、販売 医療関連機器の製造、販売 計測機器の部品・消耗品の販売 計測機器のメンテナンス・修理 不動産賃貸事業

/// 役員 (2020年6月25日現在) (※社外)

取締役

代表取締役社長	高橋俊夫
取締役会長	山守康夫
取締役副社長	玉井亨
取締役	伊東哲
取締役	中島信寿
取締役	吉田壽
取締役	東海林正男
取締役	谷山進
取締役	丸貞克
取締役	ヘンリー・シー・チャン
取締役	田中健一郎*
取締役	大野博*

監査役

常勤監査役	初田忠雄*
常勤監査役	魚次泰介
監査役	富山恭道*
監査役	米澤廣行*

/// 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 配当金 3月31日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 6848)
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 証券会社に口座をお持ちの場合は、お取引の証券会社等になります。
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL (https://www.toadkk.co.jp/ir/notification.html)

東亜ディーケーケー株式会社
<https://www.toadkk.co.jp/>



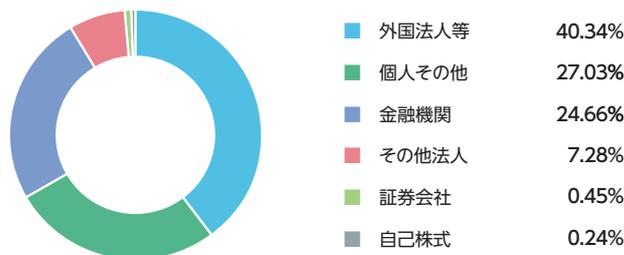
/// 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	19,880,620株
株主数	3,467名
大株主	

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
ハック・カンパニー	66,590	33.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10,763	5.43
明治安田生命保険相互会社	10,500	5.29
山下 直	9,633	4.86
光通信株式会社	4,761	2.40
株式会社みずほ銀行	4,625	2.33
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,460	2.25
株式会社三菱UFJ銀行	4,192	2.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	4,095	2.06
東亜ディーケーケー社員持株会	2,702	1.36

(注) 1. 持株数は、百株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式 (48,013株) を控除し、小数点以下第三位を四捨五入して計算しております。
3. 損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、2020年4月1日をもって損害保険ジャパン株式会社に商号変更をしております。

所有者別分布状況(発行済株式の総数に対する割合)



株主優待制度のご案内

毎年9月末現在の株主名簿に記載された100株以上をご所有の株主様に、社会貢献型寄付金付クオカードを贈呈しております。クオカードをご利用いただくことで、当社から使用額の一部を (公社) 国土緑化推進機構が運営する「緑の募金」へ寄付いたします。(株主様には全額お使いいただけます。)

● 株主ご優待の基準および内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオカード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオカード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオカード2,000円分

● 贈呈時期および方法

年1回、毎年12月に中間ビジネスレポートに同封してご送付いたします。



この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

用紙は、FSC®森林認証紙を使用しています。インキはVOC (揮発性有機化合物) が1%未満のノンVOCインキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。